

令和元年度 学校評価実施報告書

学校番号 96

学校名 千葉県立東金高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①地域や保護者に信頼される開かれた学校づくりを目指し、ホームページを行事ごとに更新してきたが、「学校は学校新聞等で学校の様子や進路についての情報など、家庭に伝える努力をしているか」に対する保護者の肯定率は77.1% (-2.6%)であった。また、「学校からの保護者あてのプリントは確実に届いていますか」に対する保護者の肯定率は79.9% (+1.3%)であった。毎年、微減・微増の一進一退である。</p> <p>②昨年度同様に授業公開を計画的に実施した。6月はPTA総会に合わせて土曜日に実施し、11月は英語科公開授業や授業錬磨の公開日を実施した。</p> <p>③報告・連絡・相談を確実にを行い、職員間の良い人間関係づくりにをを目指した。</p> <p>④不祥事根絶のための職員研修会を実施した。「セクハラ相談など不祥事防止に配慮している」の職員の肯定率は95.3% (-4.7%)、生徒の肯定率は92.1% (+1.3%)であったが、保護者の肯定率は87.6% (-2.2%)であった。職員の減少が目立つが、一昨年よりも+2.3%となっている。</p> <p>⑤業務に多忙感を感じている職員が76.7%、勤務時間を意識して勤務することができている職員が72.1%となった。大部分の職員は勤務時間を意識しているものの、多忙感は解消できていない。</p>	<p>①引き続き、行事ごとにリアルタイムで更新をしたり、閲覧しやすいレイアウトを工夫したりしていく。また、学校からの保護者あてのプリントが保護者へ確実に届くよう、学級担任からしっかりと指導していく。特に、期日の設定のあるものの提出物に関しては、期日の厳守を指導していきたい。</p> <p>②今後も保護者や他の学校の先生方の来校しやすい日程を考えて授業公開を実施していく。</p> <p>③職員間のコミュニケーションがとりやすい職場環境を整え、組織で対応できるようにする。</p> <p>④外部から講師を招き、不祥事根絶研修を行ったり、アンケート調査等を有効に活用したりし、不祥事を絶対に起こさない学校づくりに今後も全力を尽くす。</p> <p>⑤業務の改善を工夫するとともに、勤務時間に対する職員の意識をさらに高めていく。</p>
学習指導	<p>①生徒による学習評価では、「予習・復習をよくやっている」の肯定率は61.2% (+8.1%)であり、肯定率は低いものの増加傾向にある。</p> <p>②生徒による授業評価アンケートを実施した。生徒の評価は概ね良好であり、「授業をとおして、力がついてきた」の肯定率は91.3% (+5.3%)、「生徒一人一人の個に応じた指導がなされている」の肯定率は81.9% (+5.6%減)であり、肯定率は上昇している。</p> <p>③市内相互授業参観や他の校種の授業公開に参加した。授業錬磨の公開日や英語科公開授業を行い、各学校からの意見をいただき、職員の良い刺激となった。</p> <p>④英語及び国語の小テストをそれぞれ年8回実施した。成績が優秀な生徒を、年度末に表彰し、生徒の意欲を高めている。</p> <p>⑤基礎学力確認テストや校内実力テストを定期的の実施し、生徒の学力を把握したり、進路指導に活用した。</p>	<p>①予習・復習を推奨し、生徒の学習習慣の定着に努めていく。</p> <p>②生徒による授業評価は29年度と比較して、全体的に肯定率は上昇している。今後もより一層の生徒理解を進め、生徒一人一人の個に応じた指導を進めていく。</p> <p>③授業公開を授業改善につなげる方策を各教科で検討する。また、校内での相互授業参観を積極的に実施し、職員同士が共に研修できる環境作りをしていく。</p> <p>④小テストの積み重ねが着実に基礎学力定着につながっている。引き続き、実施していきたい。</p> <p>⑤今後も、実力テストの結果や外部業者による分析を基に生徒の学力状況を把握して、学習指導や進路指導に活用する。</p>

生徒指導	<p>①年3回の登下校指導をとおして、礼節指導、服装・頭髪指導、遅刻指導を行った。PTAと連携し、自転車・歩行マナー指導を行った。「学校は登下校を含め、安全指導について努力をしているか」の保護者の肯定率は81.2% (-3.7%)と減少しているが、今後も継続して安全対策、安全指導を実施していく。</p> <p>②各学期にいじめアンケートを実施し、いじめ防止対策委員会を開き、情報の共有と対策を検討した。個人情報取扱について、様々な機会に指導している。「いじめ防止に配慮しているか」の生徒の肯定率は88.6% (+1.0%)、保護者の肯定率は82.9% (-1.0%)であり、前年度とほぼ変化はない。今後も継続的な指導が必要である。</p> <p>③定期的な個別面談を実施するとともに、スクールカウンセラーと連携した教育相談体制をとっている。年々、スクールカウンセラーの利用数は増加している。</p>	<p>①保護者や地域の方々と学校との緊密な連携関係を維持し、安全指導やマナー指導を継続して実施していく。</p> <p>②生徒理解と生徒観察を丁寧に行い、生徒の心の変化に気づくことのできる体制を整えていく。人権教育や道徳教育などの機会を通じて、「思いやりの心」、「他人の立場を理解できる力」の育成を図る。</p> <p>③スクールカウンセラー利用日をわかりやすく掲示したり、気軽に活用できる体制を更に整えていく。</p>
キャリア教育	<p>①個別面談や教育相談を充実させ、生徒の適性や保護者の希望に添った進路指導を行った。「教職員は子どもたちの進路指導に適切かつ熱心に取り組んでいると思いますか」の保護者の肯定率は92.8% (+1.6%)、「子どもの進路に関して教職員と保護者との連携がとれているか」の保護者の肯定率は68.2% (-3.9%)となっている。</p> <p>②保護者向け進路講演会を2回実施した。また、保護者の研修として都内の大学見学を実施した。「学校は保護者を対象とした進路説明会を行い、進路に対する意識の高揚を図っている」の保護者の肯定率は70.1% (-5.1%)である。減少傾向であるが、今年度の保護者向け進路講演会は、例年よりも参加者が多かった。</p> <p>③城西国際大学と連携した授業「課題研究」を国際教養科の生徒に実施した。</p> <p>④ボランティア活動に参加する生徒が多かった。</p>	<p>①第1学年から進路指導を計画的に行って行く。そのために学校からの文書が一方通行にならないよう、進路に関するアンケート等を行い、学校と家庭の連携をしっかりと行っていく。</p> <p>②昨年同様、参加した保護者の方には非常に好評であった。毎回、素晴らしい講師を招いているので、ぜひ多くの保護者が参加できるよう、案内文書だけでなく、ホームページ等も利用していく。</p> <p>③生徒が課題を見つけ解決する学習として、今後も大学との連携をしていく。</p> <p>④生徒の社会性を育成するためにも、ボランティア活動を推奨していく。</p>
特色ある教育活動	<p>①国際教養科の第1学年は夏季英語セミナーを第2学年はブリティッシュヒルズ英国研修を行い、成果を上げている。</p> <p>②青年海外協力隊でタンザニアに派遣された方を講師として招き、異文化理解や日本の国際貢献について理解を深めた。また、マレーシアやブラジルの方を講師として招き異文化への理解を深めた。</p> <p>4月にオーストラリア姉妹校の短期留学生を受け入れ、7～8月にニュージーランド海外研修を実施した。3月にオーストラリア姉妹校への派遣を実施する。</p>	<p>①語学研修については、時期や研修場所等を検証し、より効果のあるものにして、今後も継続していく。</p> <p>②今後も積極的に生徒の異文化理解を進めていく。また、海外派遣も継続して実施する。</p>